

事業所理念	子供たちの生活能力向上の為に必要な訓練を行う。社会との交流を図ることができるように子供達の身心の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。		
支援方針	『健康・生活』、『運動・感覚』、『認知・行動』、『言語・コミュニケーション』、『人間性・社会性』の5領域をすべて網羅した総合的な本人支援を提供する。また、『家族支援』や『移行支援』、『地域支援・地域連携』により、家庭や地域社会における生活環境を充実を図る。この支援プログラムをベースに個々の特性に合わせて個別支援計画を策定し、質の高い療育を目指す。		
営業時間	9:00 ~ 18:00	送迎実施の有無	有 個別支援計画に基づき送迎を行う
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>支援の狙い ①基本的な生活スキルの習得 ②生活習慣の形成 ③健康状態の維持</p> <p>【健康意識の保持】 健康についての意識付けを行い、健康な心と体を育て、健康で安全な生活スタイルを支援します。検温、排泄、食事などにおいて体調観察を行い、児童と共に体調不良を確認します。</p> <p>【健康の増進】 集団活動ではラジオ体操、かけっこ・ボール遊びなどの基礎運動を取り入れ、体力の維持と運動能力の向上を図ります。体を動かす・室外活動、ひとり登降所などを通して健康生活の基本となる体づくりを行います。</p> <p>【基本生活スキルの習得】 衣類の着脱、食事、排泄などの基本的な生活スキルが向上し、身支度や片付けの習慣を身に付ける時間を設けます。身の回りを清潔にし衛生的な生活を送る為、必要な基本的技能を身に付けます。</p> <p>【構造化により生活環境の整備】 個々の特性に配慮し、時間や場所を分かりやすく理解できるように構造化を取り入れた支援を行います。「今、何をすべきか」、「次の予定は何か」など見通しを持って取り組めるように支援します。</p>	
	運動・感覚	<p>支援の狙い ①姿勢と動作の向上 ②身体の移動能力の向上 ③保有する感覚の活用 ④感覚の特性への対応</p> <p>【保有する感覚の活用】 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用できるように器具を使った遊びなどを通して支援を行う。縄跳びを使ったタイミングやバランス感覚、ボールを使った体の動かし方や力の強弱感覚、方向感覚の習得など様々な状況にも対応できる感覚能力の向上を目指す。</p> <p>【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。</p> <p>【身体の移動能力の向上】 自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力および交通機関を利用した移動など、社会的な場面における移動能力の向上を図る。</p> <p>【感覚の補助及び代行手段の活用】 障害の状態、発達の段階、興味関心などを考慮して眼鏡や補聴器等の各種補助機器や ICT を活用することで感覚代行ができる環境を整える。</p> <p>【感覚の特性への対応】 感覚の過敏や鈍麻などの感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行う。</p>	
	認知・行動	<p>支援の狙い ①認知特性に対する対応 ②感覚活用と認知機能の発達 ③知覚から行動への認知過程の発達 ④行動障害への予防及び対応</p> <p>【認知特性を踏まえた対応】 個々の認知特性を踏まえ、情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食等に対する支援を行う。</p> <p>【対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得】 感覚の活用や認知機能の発達に向け、視覚、聴覚、触覚等の感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。知覚から行動への認知過程の発達に向け、取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解でき、的確な判断と行動に繋げることを支援する。認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に向け、物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。</p> <p>【行動障害への予防及び対応】 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。</p>	
	言語・コミュニケーション	<p>支援の狙い ①言語の形成と活用 ②言語の受容と表出 ③コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用</p> <p>【言語の形成と活用】 子供同士が意見を言ったり、相手の話を聞いたりする場を設けます。自分の考えを伝えたり、人の意見を聞き入れて相手の気持ちを理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を図ります。コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語が身に付くことを目指します。</p> <p>【言語の受容と表出】 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援します。</p> <p>【読み書き能力の向上のための支援】 絵文字カードやカルタなどの知育教材を用いて、個々の能力に合った読み書き能力の向上を目指します。</p> <p>【コミュニケーションの基礎的能力の向上】 個々の児童の障害状況、興味関心に応じて、言葉に限らず、表情や身振り、各種コミュニケーションツール等を用いて意思の疎通を図り、コミュニケーションに必要な基礎的な能力が身に付くように支援します。</p> <p>【コミュニケーション手段の選択と活用】 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。また、手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。パソコン・タブレット等の ICT 機器をはじめ、様々なコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。</p>	
	人間関係・社会性	<p>支援の狙い ①他者との関わり(人間関係)の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加</p> <p>【アタッチメントの形成と安定】 アタッチメント(愛着)の形成に向け、「環境に対する安心感」、「人に対する信頼感」、「自分に対する肯定感」を育む支援を行います。不安になった際には、職員と相談することで気持ちの昂りが静まり、気持ちがコントロールできる「安心の基地」の場を児童と一緒に作ります。</p> <p>【他者との関わり形成】 相手の気持ちを理解し、相手の言動を受け止め、場に応じた適切な行動ができるように支援します。</p> <p>【遊びを通じた社会性の促進】 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。また、周囲にこどもがいても無関心であるひとり遊びの状態から並行遊びを行い、大人が入り込んで行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。</p> <p>【自己の理解と行動の調整】 自分のできることや苦手なこと、自分の行動の特徴などを自覚し、情動を調整して状況に応じた行動ができるように支援します。</p> <p>【仲間づくりと集団への参加】 集団に参加するための手順やルールを理解し、集団活動に参加できるように支援します。仲間と共に活動することを通して、一緒に活動する喜びを見つけ、相手を認め、助け合い、仲間が増えるように支援します。</p>	
家族支援	発達状況や特性の理解に向けた情報の提供を行うとともに家庭生活での困り事の相談援助を行う。	移動支援	今後の進路に向けて本人の意志と家族の意向を勘案できるように相談援助と状況に応じた準備の支援を行う。
地域支援・地域連携	相談支援センター、学校、医療機関と状況および課題を共通認識し情報連携による地域支援を行う。	職員の質の向上	年2回以上開催の社内基礎研修、毎月開催のケース検討会議 虐待防止、強行行動障害、メンタルヘルス等の外部研修の受講
主な行事等	<p>【季節の変化を感じる行事】 正月飾り、凧揚げ・コマ回し、お花見(梅、桜、チューリップ、紫陽花、楓、銀杏並木など)、水遊び、夏祭り、落ち葉拾い</p> <p>【伝統的な文化に触れる行事】 節分、ひな祭りこどもの日、母の日、父の日、七夕、敬老の日、ハロウィン、クリスマス</p> <p>【定期的な行事】 誕生日会、避難訓練、防災体験(地震、消火、煙)、絵画展の作品展制作、カレンダー作り</p>		

事業所名

おもちゃ箱こだいら（重症心身障害児型）

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

1日

法人（事業所）理念		おもちゃ箱こだいらでは、遊びを通じて生活能力の向上や子供が本来持っている能力を引き出せるよう、子供たち一人一人と向き合いながら支援を行います。				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援では、自主性と自立性を育てます。集団支援では、みんなと一緒に活動することでマナーやルール等のスキルを育てます。 ・医療的ケア児や重症心身障害児のお子様とご家族が安心して放課後時間を過ごせる場所を作り、看護師や理学療法士・作業療法士がケアやトレーニングを行います。 				
営業時間		13時	から	17時	平日	
		10時		17時	学校休業日	
		送迎実施の有無		あり		
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・既往歴・健康状態の把握を毎日のミーティングで共有し、意思表示が困難な特性や発達の過程に配慮し、児童からのサインや心身の変化に気づけるよう細やかな観察を行います。 ・医療的ケアを必要とされるお子様が安全に過ごせるように、日々の確認を行いながら医療的ケアを実施します。 ・身の回りの清潔や、食事の仕方、衣類の着脱、排泄等の生活に必要なスキルを取得できるよう支援します。 ・食事形態や口腔機能・感覚に配慮しながら、誤嚥や誤食を予防する食事介助や環境整備等で安全に配慮します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動内容を用いて微細運動・粗大運動を支援できるプログラムを提供します。（毎月のカレンダー作りなどの制作活動や公園等でのアクティビティ） ・日常生活に必要な姿勢維持と運動機能向上の為に、理学療法士や看護師が関節拘縮や変形の予防につながるストレッチやマッサージを行います。必要時様々な装具やコルセット、立位台や坐位保持椅子等を活用し、支援します。また作業療法士が個々の作業スキル向上へつながる遊びへ誘導します。 ・感覚過敏や鈍麻の特性に配慮した環境整備を行い、感覚の偏りに対応します。保有する感覚を十分活用できるような遊びを取り入れていきます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用できる遊びや活動を通して、様々な情報を取得し認知機能の向上に努めます。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーション困難により起こりうる行動障害の予防や適切行動への支援を行います。 ・人や場所への認知や、数・曜日・時間・色・量・大きさ等の概念の形成につながるプログラムを取り入れていきます。 ・興味の対象が広がるような地域にある施設への外出を企画します。（長期休暇時等） 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やしぐさでの気持ちの表出を受けとめ言葉で代弁することや、一緒にリピートすることで言語の習得や発語につながるように支援します。こちらからは絵カードや写真・実物などを用いて説明します。適切な場面での適切な言語の選択ができるよう具体的な体験を大切にしていきます。 ・ご家庭や学校とも共通のサインや言葉を使用することで意思疎通の手段を増やし、気持ちが伝わる喜びを得る機会を増やすことができるように関わります。 ・特性に合わせた読み書き能力の向上の為の支援を行います。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊びから協同遊びへの移行を促し、集団に参加する為の手順やルールを理解し安心して参加できるように仲立ちをすることで楽しい経験ができるよう支援します。 ・職員やお友達、ご近所の方など個々のご家庭では接することがない年齢層の人と交流することで、適切な関わり方を伝えていきます。 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭の状況に合わせ利用日の調整や必要時延長支援を行います。 ・ご成長やご家庭の状況の変化に伴う情報共有や相談が安心してできる関係を築いてまいります。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備のお手伝いをします。（ご家族との情報共有や相談援助、移行先との支援方針内容方法の共有・移行先への受け入れ体制づくりへの協力や相援助等）
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・他支援機関と連携を取りながら各支援機関での有益な取り組みをおもちゃ箱でも工夫しながら取り入れていきます。 ・相談支援員のモニタリングや個別支援計画更新時は必要に応じて保護者の了承のもと相談支援員に情報提供します。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質の向上の為に定期的な所内研修を実施し、外部研修へ積極的に参加していきます。
主な行事等		節分・誕生日会・七夕・夏祭り・クリスマス会・社会見学など				